

術前準備

手術の前にどんな準備が必要かですが、必要な検査は、一般検査。どんな手術でも麻酔に必要なのは、血液検査、心電図、レントゲン、肺活量と、こんな検査をします。もちろん既往歴があれば、その他の検査が必要になってくることもあります。

画像検査としては、レントゲン、MRI、CTスキャンを行います。診察と説明についてですが、私たちの場合には、まず外来で診察して、何回かお会いして、診断がはっきりした段階で、こういう手術が必要ですねというお話をします。それから、手術についてのパンフレットをお渡しして、神経というのはこういう働きをしているんですよ、これが傷むとこういうような症状が出てくる、あなたの場合にはここでこういうふうに傷んでいるので、こういうふうにしたほうがいいですねというお話をするわけです。

私たちは今、6人でやっていますが、全員でカンファレンスで手術方針を決めます。外来の患者さんも、手術の患者さんも全員でレビューして決める。非常に時間の掛かる作業で、月曜日と水曜日は夜7時から9時10時くらいまで作業をやっています。そして、入院されたあと、ご家族と一緒にもう一回説明するというスタイルをとっています。書類としては術前説明用紙、手術承諾書です。それから輸血についてですが、輸血をすることはまずないんですね。昨日も大きな手術をしましたが、出血約80ccとかでした。あまり出血する手術じゃないんですけど、全身麻酔の場合には、何があるかわからないので輸血承諾書は戴くというようにしています。